行政環境関連施策(第三節)											
頁	取組	担当部課	現況と課題等	H16	H17	H18	H19～H21	H22～H25	H17結果	進捗状況	達成見通し
ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ
58	広報、環境かわら版などによる情報提供により市民・事業所のごみの減量に向けた意識の向上を図ります。	清掃対策課	10月の一宮市環境月間に向けてごみ減量啓発を実施する。これまでに、環境かわら版を計7回、環境保全・ごみ減量モニターによるモニター通信を計5回発行し、市民の意識の向上に努めている。	環境かわら版を随時作成し、町内会の組ごとに配布する。	継続実施	継続実施			環境かわら版 1回 モニター通信 2回 発行	B 計画 通り	B 予定通 り
58	広報、環境かわら版や『行動事例集』による取組紹介などを実施して廃棄物減量などを積極的に行う市民・事業所に対して側面的な支援を行います。	環境保全課	環境基本計画「行動事例集」については、本編とは別に資料として作られた。	啓発に努める。	継続実施 ごみ減量分科会で市民・事業者が取り組める実行策を考える。	ごみ減量ポスター作製 エコ・ウォークの推進	継続実施	継続実施	ごみ減量分科会を立ち上げ、推進協議会委員の中から7名の委員が参加 年 6回開催	B 計画 通り	B 予定通 り
58	広報、環境かわら版や『行動事例集』による取組紹介などを実施して廃棄物減量などを積極的に行う市民・事業所に対して側面的な支援を行います。	清掃対策課	10月の一宮市環境月間に向けてごみ減量啓発を実施する。これまで、環境かわら版を計7回、環境保全・ごみ減量モニターによるモニター通信を計5回発行し、市民の意識の向上に努めている。	環境かわら版を随時作成し、町内会の組ごとに配布する。	継続実施	継続実施			環境かわら版 1回 モニター通信 2回 発行	B 計画 通り	B 予定通 り
58	ごみ減量のマスタープラン策定を検討します。	清掃対策課	該当事業なし								
58	ごみ減量の取組状況を町内単位などで確認できる方法を検討します。	清掃対策課	該当事業なし								
59	市民・事業者・市が協力してごみ減量に取り組めるよう「一宮市環境基本計画推進協議会」などの組織を創設します。	清掃対策課	廃棄物減量等推進員制度等、既存組織の充実を図る。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	目標通り実施	B 計画 通り	B 予定通 り
59	市民・事業者・市が協力してごみ減量に取り組めるよう「一宮市環境基本計画推進協議会」などの組織を創設します。	環境保全課	同組織との連絡に努める。ごみ減量分科会を立ち上げ、推進協議会委員（市民・事業者）により、ごみ減量に係る実行策を検討している。	ごみ減量分科会を立ち上げる。	ごみ減量分科会を毎月1回開催し、ごみ減量に係る実行策を検討する。	ごみ減量ポスター作製 エコ・ウォークの推進	継続実施	継続実施	ごみ減量分科会を立ち上げ、推進協議会委員の中から7名の委員が参加 年 6回開催	B 計画 通り	B 予定通 り
59	市民団体、NPOの育成や活動への支援を行います。	地域ふれあい課	一宮市と市民活動団体（市民）が協力し合い、さまざまな分野で活躍する市民活動団体（市民）を支援するとともに、市民活動の活性化と市民の意識啓発を図る。 平成16年7月市民活動支援センターを設立した。	市民活動支援センターを整備 一宮・尾西・木曾川広域市民活動情報サイトを	市民活動支援センター及び一宮市市民活動情報サイトを運営	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施し、市民活動団体やボランティアを支援した。	B 計画 通り	B 予定通 り
59	町内会・自治会、市民レベルで行うごみ減量（資源回収や生ごみ堆肥など）の取組、自立活動を支援します。	清掃対策課	平成16年度より衛生委員の廃止に伴い、従来からの廃棄物減量等推進員制度を充実させ、町内でのごみ出しマナー、ごみ減量への取組を支援する。	廃棄物減量等推進員制度を充実	継続実施	継続実施			目標通り実施	B 計画 通り	B 予定通 り
59	事業所が連携してごみ減量に取り組めるよう、「一宮市環境基本計画推進協議会」を通じて組織構築への支援を行います。	清掃対策課	事業者責任が問われるようになり、事業者側も独自の取り組みを進めているところである。行政としても啓発等側面的な支援を続けていく。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	目標通り実施	B 計画 通り	B 予定通 り
59	事業所が連携してごみ減量に取り組めるよう、「一宮市環境基本計画推進協議会」を通じて組織構築への支援を行います。	環境保全課	同組織との連絡に努める。事業所からの代表者に「ごみ減量分科会」のメンバーに2名入っていただき、事業所のごみ減量への取組策を検討していただいている。	ごみ減量分科会を立ち上げる。	問題点を洗い直し、事業所ができるごみ減量具体策を考える。	継続実施	継続実施	継続実施	事業所ができるごみ減量具体策を検討した。	B 計画 通り	B 予定通 り
59	事業所などに対してISO14000シリーズ認証取得に係る補助を行います。	経済振興課	ISO14000シリーズの認証を取得した企業に対し、その審査にかかる経費を補助する。 補助対象経費の1/2の95% 95万円を限度	継続実施	限度額を50万円に変更				0件 申請なし	B 計画 通り	B 予定通 り
60	市が排出するごみに関して「エコアクション一宮」など率先行動計画のなかで減量目標をたてて取り組みます。また、その事例を広く紹介します。	環境保全課	現在のところ市が排出するごみに関して「エコアクション一宮」など率先行動計画のなかで減量目標をたてて取り組んでいないが、今後、開催される「地球温暖化対策実行計画検討委員会」の中で、提案し、検討していきたい。		検討	検討			未実施	D 不十分	D 1年以上遅れる

行政環境関連施策(第三節)											
頁	取組	担当部課	現況と課題等	H16	H17	H18	H19～H21	H22～H25	H17結果	進捗状況	達成見通し
ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ
60	「いちのみや530(ごみゼロ)作戦」の推進や環境基本計画(行動事例集を含む)の周知など市民、事業者等がごみ減量の目標を設定して取り組めるように必要な支援を行います。	清掃対策課	平成14年7月における「ごみ減量シンポジウム」開催を受け、「いちのみや530作戦」を開始する。さらに平成15年度より市内小中学校において「エコスクール運動」を展開。17年度は、合併した旧尾西市・旧木曾川町の小中学校へも参加を呼びかけ、ごみ減量・環境保全に対する意識の向上を図る。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	目標通り実施	C 多少下回る	B 予定通り
60	「いちのみや530(ごみゼロ)作戦」の推進や環境基本計画(行動事例集を含む)の周知など市民、事業者等がごみ減量の目標を設定して取り組めるように必要な支援を行います。	環境保全課	ごみ減量分科会にて平成17年度に「ごみ減量ポスター」の作製と「エコ・ウォーク」の推進を立案し、平成18年度には、実施する予定である。	ごみ減量分科会を立ち上げる。	ごみ減量分科会において検討	「ごみ減量ポスター」作製や「エコ・ウォーク」の推進	継続実施	継続実施	「ごみ減量ポスター」作製や「エコ・ウォーク」の推進を提案した。	B 計画通り	B 予定通り
60	環境家計簿の内容を充実して普及促進に努めます。	環境保全課	平成12年度に環境家計簿を全戸配布、次年度以後は環境保全課で希望者に配布、消費生活フェアなどのイベントで配布している。	消費生活フェアで配布	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	希望者に配布	B 計画通り	B 予定通り
61	自らの事務事業について、過度に物品等の購入をしないよう「グリーン購入」推進の中での職員等への周知徹底に努めます。	環境保全課	平成15年度に基本方針を策定し、各年度の取組状況を把握、公表している。また、グリーン購入の第一原則が発生の抑制、必要以上に購入しないことを説明している。	グリーン購入は、事務に支障のない限り100%	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	グリーン購入率は、95.0%であった。	B 計画通り	B 予定通り
61	市民のリユース、リサイクルの活動を支援するため、フリーマーケット開催など必要な情報提供に努めます。	清掃対策課	環境センター北館内リサイクル展示室において、2ヶ月ごとにリサイクル品の抽選を実施している。	展示品の配布300点	継続実施	継続実施			目標通り実施	B 計画通り	B 予定通り
61	リユース・リサイクル活動の企画(例えば市のホームページを利用した交換制度など)、実施を検討します。	清掃対策課	環境センター北館内リサイクル展示室において、2ヶ月ごとリサイクル品の抽選を実施している。	展示品の配布300点	継続実施	継続実施			目標通り実施	B 計画通り	B 予定通り
61	「グリーン購入」運動の一環として備品の有効利用制度を検討するなど、市自ら率先してごみを出さない、ものを生かす行動を実践します。	環境保全課	市庁内情報システムの掲示板に備品交換コーナーを設け、備品を有効利用している。	検討	使用しなくなったため提供できる備品がある課(公所)と、そうした備品を必要としている課(公所)が相互に情報交換することにより、備品の有効利用を	継続実施	継続実施	継続実施	市庁内情報システムの掲示板に備品交換コーナーを設け、情報交換	B 計画通り	B 予定通り
62	小売店等と連携してリフューズの運動の定着に努めます。	清掃対策課	事業者責任が問われるようになり、事業者側も独自の取り組みを進めているところである。行政としても啓発等側面的な支援を続けていく。	マイバッグ持参推奨、簡易包装推奨のPOPを各協力店に掲示し、啓発する。	継続実施				目標通り実施	B 計画通り	B 予定通り
62	「一宮市ごみの減量等の推進に関する条例」に基づくマイバック運動、リフューズ運動を具体的に推進する計画の策定・実施を検討します。	清掃対策課	マイバッグ持参推奨等、ごみ減量に向けて、啓発活動等を実施している。	マイバッグ持参推奨、簡易包装推奨のPOPを各協力店に掲示し、啓発する。	継続実施				環境センターフェアでマイバックを配布した他、啓発活動に力を入れた。	B 計画通り	B 予定通り
63	グリーン購入普及のため広報・ホームページなどを活用した商品やその開発に関する情報(国や県が実施する補助制度等)の提供に努め、市民・事業所への支援をします。	環境保全課	基本方針に基づき実施し、取組結果については広報掲載、報道発表している。また、ホームページでは商品情報等について詳しく解説された他団体(グリーン購入ネットワークなど)の紹介をしている。	グリーン購入がわかりやすい制度となるよう研究を進める。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	取組結果について広報掲載、報道発表した。グリーン購入率は、95.0%であった。	C 多少下回る	C やや遅れる
63	市、自らグリーン購入を率先します。(「エコアクション一宮」のなかでグリーン購入を推進)	環境保全課	平成15年度に基本方針を策定し、各年度の取組状況を把握、公表している。	グリーン購入は事務に支障のない限り100%	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	グリーン購入率は、95.0%であった。	B 計画通り	B 予定通り
64	計画期間中のごみ発生量の推移を確認し、状況により指定ごみ袋制度の導入や指定ごみ袋を利用した紙製容器包装やプラスチック製容器包装の分別回収の採用を検討します。また、同様の趣旨により有料化について	清掃対策課	合併後、3年をめぐりに2市1町のごみ出しルールの統一を図っているところであり、その中で指定ごみ袋制度の導入等も検討している。	市内3ヵ所の日曜日の回収を実施	継続実施	継続実施			目標通り実施	B 計画通り	B 予定通り

行政環境関連施策(第三節)											
頁	取組	担当部課	現況と課題等	H16	H17	H18	H19～H21	H22～H25	H17結果	進捗状況	達成見通し
ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ
64	リサイクル推進のため、リサイクルステーション等の設置を検討します。	清掃対策課	合併後、3年をめぐりに2市1町のごみ出しルールの統一を図っているところであり、その中で容器包装プラスチックの分別収集(旧木曾川地区はすでに実施)等も検討している。	資源ごみの拠点回収を実施する。	継続実施	継続実施			目標通り実施	B 計画通り	B 予定通り
64	リサイクル促進のため、NPOなどがエコマネー制度を実施できるよう、その支援に努めます。	地域ふれあい課	該当事業なし								
64	リサイクル事業の定着を図るため、関係団体への助成や関連情報の提供などを行います。	清掃対策課	町内会、学校などでの資源回収の主催団体に対し、回収量に応じ交付金を交付している。	回収のび率 2%	継続実施	継続実施			回収のび率 1.1% (ペットボトルの材質変化などの影響あり)	B 計画通り	B 予定通り
65	ごみの分別回収を徹底するために、ホームページ活用やごみ出しカレンダーの充実を検討するなど必要な情報提供に努めます。また、それにより転入者への周知徹底を図ります。	清掃対策課	ごみ出しルールが統一されるまでは、各地区ごとに分別が徹底されるようホームページ等で情報提供に努めるとともに、チラシ等による啓発を実施していく。		チラシ等による啓発活動を実施	継続実施			目標通り実施	B 計画通り	B 予定通り
65	地域での指導者やキーマン(分別が判っていて、相談できる人)を養成するなど人的体制の充実を図ります。	清掃対策課	平成12年度より「環境保全・ごみ減量推進モニター」制度を設立した。平成16年度より「廃棄物減量等推進員」制度を拡充し、地域におけるリーダーの養成をめざしている。	モニター 14名 推進員 952名	モニター 14名 推進員 994名	モニター20名 推進員967名			目標通り実施	B 計画通り	B 予定通り
65	環境循環型農業試験事業の確立により生ごみ堆肥化事業を推進します。	清掃対策課	平成16年度より生ごみを分別収集・乾燥処理し、堆肥の原料とする資源化を試験導入する。	今伊勢町 60世帯 試験導入	今伊勢町 600世帯 試験導入	今伊勢町 木曾川町 680世帯 試験導入			7月より今伊勢町の協力世帯を620世帯に広げた。	B 計画通り	B 予定通り
65	環境循環型農業試験事業の確立により生ごみ堆肥化事業を推進します。	農業振興課	平成17年度市内公共施設と一部町内会及びマンションの協力を得て、108,717ℓの生ごみから18,800ℓの堆肥を製造した。他には、高速に1次処理物の堆肥化を平成17年度実施した。完熟堆肥にするまでには更に研究を要する。平成18年度は高速1次処理物の堆肥化の効率を高めるよう研究する。	協力区域を一部マンションにも拡大する。	継続実施	協力区域を一宮女子短期大学にも拡大する。			協力マンションより923ℓの高速1次処理物を回収。全体では108,717ℓの生ごみから、18,800ℓの堆肥を製造した。	B 計画通り	B 予定通り
65	生ごみ堆肥化事業を効率的に運営するため、他の事例を参考にします。	清掃対策課	平成16年度より生ごみを分別収集・乾燥処理し、堆肥の原料とする資源化を試験導入する。	今伊勢町 60世帯 試験導入	今伊勢町 600世帯 試験導入	今伊勢町 木曾川町 680世帯 試験導入			7月より今伊勢町の協力世帯を620世帯に広げた。また、他の堆肥化施設の視察等を行った。	B 計画通り	B 予定通り
65	生ごみ堆肥化事業を効率的に運営するため、他の事例を参考にします。	農業振興課	平成17年度市内公共施設と一部町内会及びマンションの協力を得て、108,717ℓの生ごみから18,800ℓの堆肥を製造した。他には、高速に1次処理物の堆肥化を平成17年度実施した。完熟堆肥にするまでには更に研究を要する。平成18年度は高速1次処理物の堆肥化の効率を高めるよう研究する。	協力区域を一部マンションにも拡大する。	継続実施	協力区域を一宮女子短期大学にも拡大する。			協力マンションより923ℓの高速1次処理物を回収。全体では108,717ℓの生ごみから、18,800ℓの堆肥を製造した。	B 計画通り	B 予定通り
65	家庭で独自に堆肥化ができるよう生ごみ簡易堆肥化容器(コンポスト)、生ごみ発酵用密閉容器、電動生ごみ処理機の補助金制度を活用した支援を行います。	清掃対策課	平成3年12月より生ごみ簡易堆肥化容器(コンポスト)、平成8年9月から生ごみ発酵用密閉容器、平成11年8月から電動生ごみ処理機の購入補助を実施している。また、合併を機に補助率の見直し、講習会の開催等で使用者の拡大に努める。	堆肥化容器 100個 発酵容器 150個 電動処理機 180個	継続実施	継続実施			生ごみ処理機の購入補助に加え、9月に生ごみリサイクル講座を実施した。	B 計画通り	B 予定通り
66	最終処分場の延命化を図るため、埋立処分されている焼却灰や不燃ごみ等について灰溶融炉導入などにより再利用を検討します。	清掃対策課	「尾張西部ごみ焼却処理等広域ブロック会議」において、灰溶融炉導入等について検討を進めている。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	引き続き検討中	D 不十分	D 1年以上遅れる

行政環境関連施策(第三節)											
頁	取組	担当部課	現況と課題等	H16	H17	H18	H19～H21	H22～H25	H17結果	進捗状況	達成見通し
ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ
66	「エコハウス138」の運営など、焼却施設の余熱を有効利用します。	施設管理課	エコハウス138の温水プールや環境センターの空調等に利用している。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	目標通り実施	B 計画通り	B 予定通り
67	広報・ホームページ等を利用した啓発活動の推進により、ごみ出しルール遵守やマナー向上を図ります。	清掃対策課	平成16年4月に全世帯に対し、「ごみの出し方分け方辞典」を配布し、同時にホームページにも掲載した。また、外国語バージョンも作成した。これらは転入手続きの際、手渡すようにしている。		継続実施				ごみの出し方をまとめたチラシを配布するなど、ルール遵守・マナー向上に努めた。	B 計画通り	B 予定通り
67	警察など関係機関と連携しての不法投棄監視に努めます。	維持課	平成14年度より、警察、県一宮建設事務所及び市関係各課により「不法投棄対策連絡会」を設立し合同パトロールを実施している。高速道路沿いや田畑の間の道路等、人目のない地域が市内に多いため、不法投棄の根絶にはいたっていない。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	パトロール実施	B 計画通り	B 予定通り
67	警察など関係機関と連携しての不法投棄監視に努めます。	清掃対策課	平成14年度より、警察、県一宮建設事務所及び市関係各課により「不法投棄対策連絡会」を設立し合同パトロールを実施している。夜間パトロールや郵便局との提携による通報制度により、不法投棄の防止に努めている。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	目標通り実施	B 計画通り	B 予定通り
75	「一宮市中心市街地活性化基本計画」などコンパクトシティ形成につながる施策を推進します。	経済振興課	まちづくり3法の改正に伴い、平成18年度から実施する「一宮市中心市街地活性化基本計画」策定事業の中で検討する。	該当事業なし	該当事業なし	同計画を検討する。					
75	「一宮市中心市街地活性化基本計画」などコンパクトシティ形成につながる施策を推進します。	まちづくり課	まちづくり3法の改正に伴い、平成18年度から実施する「一宮市中心市街地活性化基本計画」策定事業の中で検討する。	該当事業なし	該当事業なし	同計画を検討する。					
75	市民参加の場の提供や情報提供などの方法により市民・事業所等の理解を得て、都市計画のマスタープランの見直しの際にコンパクトシティの検討を行います。	まちづくり課	平成18年度より都市計画のマスタープランの見直し作業に入っている。	該当事業なし	該当事業なし	同マスタープランの見直し作業に着手する。					
77	パークアンドライド、環境定期券などの施策や公共交通機関(路線バスなど)の充実を検討し、自動車利用の抑制を図ります。	企画部	該当事業なし								
77	「ノーカーデー」の普及など、啓発活動に努めます。	環境保全課	エコアクション一宮やホームページの地球温暖化対策の1項目として掲げている。毎月第2水曜日に市職員を対象にノーカーデーを実施している。	市の事業として実施 庁内放送・メール配信により啓発を行う。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	毎月第2水曜日のノーカーデーの前日に周知 庁内放送 年12回 メール配信 年12回	B 計画通り	B 予定通り
78	レンタサイクル制度や歩行者や自転車が利用しやすい道路等の整備を検討し、自転車の利用促進を図ります。	道路課	新たに土地を買収して自転車道を設置することは極めて困難であるため、既存の道路空間を活用し、この中でいかに自転車の利用環境を向上させ、整備するかが課題となっている。	愛知県が「自転車利用環境整備計画」を策定する。	(県)名古屋一宮線 L:510m (市)0136号線 L:300m	(県)新一宮停車場線 L:410m (市)0138号線 L:570m	(県)名古屋一宮線 L:300m (県)名古屋岐阜線 L:430m (市)0115号線 L:500m (市)0114号線 L:440m	(県)名古屋一宮線 L:380m (市)0136号線 L:210m	C 多少下回る	C やや遅れる	
78	自転車の利用に適しているという一宮市の特性をPR(情報発信)します。	環境保全課	該当事業なし								

行政環境関連施策(第三節)											
頁	取組	担当部課	現況と課題等	H16	H17	H18	H19～H21	H22～H25	H17結果	進捗状況	達成見通し
ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ
78	サイクリングが楽しめるような道路の整備を検討し、その情報提供に努めます。	道路課	新たに土地を買収して自転車道を設置することは極めて困難であるため、既存の道路空間を活用し、この中でいかに自転車の利用環境を向上させ、整備するかが課題となっている。	愛知県が「自転車利用環境整備計画」を策定する。	(県)名古屋一宮線 L:510m (市)0136号線 L:300m	(県)新一宮停車場線 L:410m (市)0138号線 L:570m	(県)名古屋一宮線 L:300m (県)名古屋岐阜線 L:430m (市)0115号線 L:500m (市)0114号線 L:440m		(県)名古屋一宮線 L:380m (市)0136号線 L:210m	C 多少下回る	C やや遅れる
78	「エコアクション一宮」により市が率先して「エコドライブ運動」を推進します。また、その取組紹介等により運動の輪を広げます。	環境保全課	平成13年度の「エコアクション一宮」開始時に職員周知資料として「一宮エコドライブ運動10箇条」を送付した。推進者研修会や職員研修時にエコアクション一宮について説明している。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	職員研修時にエコアクション一宮について説明した。	B 計画通り	B 予定通り
78	「エコアクション一宮」(グリーン購入)で公用車の低燃費・低公害化を図ります。	管財課	環境や安全に配慮しつつ、交通法令等を遵守した「人と環境にやさしい」安全運転を心がけている。また、耐用年数を経過した公用車の買い替えに際しては、低燃費・低公害化を実現した自動車の購入を具体的に検討する。	平成19年度に一般公用車の25%以上を低公害車とする。	平成19年度に一般公用車の25%以上を低公害車とする。	平成19年度に一般公用車の25%以上を低公害車とする。	未定	未定	買替えに伴う増低排出車1台導入	B 計画通り	B 予定通り
		今伊勢分院		買替えなし	B 計画通り	B 予定通り					
		消防総務課		基本方針に基づき継続実施	基本方針に基づき継続実施	基本方針に基づき継続実施	基本方針に基づき継続実施 平成19年度一般公用車25%	低排出車 4台導入 超低PM排出ディーゼル車 6台導入	B 計画通り	B 予定通り	
		上下水道部		低排出車5台導入 天然ガス車1台導入	B 計画通り	B 予定通り					
78	低燃費・低公害車の普及啓発(情報発信)に努めます	環境保全課	生活環境条例の同項目について平成15年10月1日号の広報で紹介した。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	車両担当各課へ情報提供した。	B 計画通り	B 予定通り
80	広報・ホームページ等を活用した情報発信や「エコアクション一宮」の取組内容の紹介により市民・事業者の省エネ推進を支援します。	環境保全課	毎年度「温室効果ガス排出結果」等各種取組を広報掲載、報道発表している。それ以外の省エネ情報についてはホームページで紹介している。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	温室効果ガス排出結果を広報掲載、報道発表した。省エネ情報については、ホームページで紹介	B 計画通り	B 予定通り
80	フィフティ・フィフティ運動の企画や環境家計簿の充実(診断等を付けるなど)など取組者がやりがいを持てるような施策を検討し、省エネ行動を促進します。	環境保全課	平成12年度に環境家計簿を約90,000世帯に対して配布したが、実施状況アンケートの回答は全体で36件であった。診断等については比較基準もなく難しいため、啓発に努める。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	希望者に配布した。	C 多少下回る	C やや遅れる
81	グリーン購入紹介など広報・ホームページを利用した情報発信により市民・事業者の取組を支援します。	環境保全課	基本方針に基づき実施し、取組結果については広報掲載、報道発表している。また、ホームページでは商品情報等について詳しく解説された他団体(グリーン購入ネットワークなど)のホームページを紹介している。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	取組結果について広報掲載、報道発表した。ホームページでは商品情報等について解説された他団体のホームページを紹介した。	B 計画通り	B 予定通り
81	物品の購入や施設の更新(新築や建替え、増築)などで環境に配慮するなど市自ら率先して行動します。	環境保全課	基本方針に基づき環境配慮型物品の優先購入を実施している。施設の更新に関しては平成13年12月に「公共施設建設等に係るガイドライン」を作成し、省エネ化を図っている。	事務に支障のない限り100%	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	基本方針に基づき環境配慮型物品を優先的に購入し、施設の更新に関しては省エネを図った。	B 計画通り	B 予定通り

行政環境関連施策(第三節)											
頁	取組	担当部課	現況と課題等	H16	H17	H18	H19～H21	H22～H25	H17結果	進捗状況	達成見通し
ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ
81	この地域で効果的に新エネを普及させるための計画策定や普及に向けた支援策を検討します。	環境保全課	「公共施設建設等に係るガイドライン」に基づき率先導入することで新エネルギー施設の価格の低下等の効果を期待している。	継続実施	継続実施	継続実施			ふれあいセンターなごみにおいて太陽光発電システムの設備を導入した。	B 計画通り	B 予定通り
81	「公共施設建設等に係る環境配慮ガイドライン」に基づき公共施設の更新(新築や建替え、増築)に際して積極的に新エネを導入します。	建築住宅課	ガイドラインを作成後、西成出張所等で太陽光発電を設置している。平成16年度は市民病院南館建設でコージェネレーションシステムや太陽光発電を設置した。	継続実施 環境負荷の少ない公共施設の整備を進める。	継続実施	継続実施 今伊勢公民館において太陽光発電や雨水貯水槽を設置する。小学校7校・中学校3校において高効率照明器具に取替える。	継続実施	継続実施	大山住宅C・D棟の単独浄化槽を合併浄化槽に取替をした。	B 計画通り	B 予定通り
82	公園の整備や市の施設等での緑化の推進により地域の緑を保全し、また緑化を推進します。	公園緑地課	平成14年度末の都市公園面積は137.12ha(4.87㎡/人)高木の本数は16,452本、道路の緑化延長は38.1km、高木の本数は4,350本となっている。平成15年度末の都市公園面積は140.49ha(4.96㎡/人)となっている。	144.21ha		154.88ha		H22 164.57ha 木曾三川公園 26.4ha(完了)	174.51ha (新市域)	B 計画通り	B 予定通り
82	「市民参加による森づくり」など市民参加の緑化活動を推進します。	公園緑地課	市民参加の森づくり植樹祭(市と寄付による事業) 平成14年度:小学生と地元町内会 800名 平成15年度:小学生と地元町内会 480名 平成16年度:一宮市光明寺最終処分場竣工記念植樹祭 800名	一宮市光明寺最終処分場 竣工記念植樹祭 800名	800名	継続実施			合併記念植樹祭 鉄道高架記念緑道 800名	B 計画通り	B 予定通り
83	「愛知県フロン回収・処理推進協議会」の一員として、フロンガスの適正廃棄に係る啓発活動に積極的に参加するなど、その施策に	環境保全課	「愛知県フロン回収・処理推進協議会」会員として会議や行事等に参加している。	継続実施	継続実施	継続実施			「愛知県フロン回収・処理推進協議会」の会議に出席し、啓発活動の施策に協力した。	B 計画通り	B 予定通り
84	地球環境問題の解決のため国や愛知県の施策に積極的に協力します。	環境保全課	広報掲載等を行い国等に協力している。生活環境条例の中に地球温暖化対策の項目も盛り込まれており、平成15年10月1日号の広報で紹介した。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	環境月間等に広報掲載を行い、国等に協力した。	B 計画通り	B 予定通り
84	地球環境問題を幅広く取り上げ、啓発活動に努めます。	環境保全課	エコアクション一宮やホームページの地球温暖化対策の1項目として掲げている。6月の環境月間にあわせて関連記事を広報に掲載している。また、平成17年度については、環境問題講演会は、一宮市独自で開催せず、西尾張地方公害対策連絡協議会において開催し、啓発活動に努めた。	継続実施	継続実施	継続実施			6月の環境月間に関連記事を広報に掲載した。	B 計画通り	B 予定通り